



れんがとは…

身近にある「土」を使って容易に作る事ができるため、世界各地で最も古くから使われてきた建築用材料の一つです。日干しれんがや焼成れんがの他、工場で使う耐火れんがなどがあります。

中国ではタイル状のものも含めて「磚」と呼び、日本には仏教とともに伝えられました。

赤れんが博物館のご案内

舞鶴市には、1901(明治34)年に旧海軍舞鶴鎮守府が開かれたころ海軍が建設した、多くのれんが建造物が残り、100年をこえる時の流れのなかで、赤れんが建造物の美しさは深まりつづけています。

赤れんが博物館の建物は、1903(明治36)年に旧海軍の魚雷の倉庫として建設されました。鉄骨とれんがを組み合わせた建築物としては、日本に今もある建物として最も古いものの中に入るといわれています。

舞鶴らしさの一つとなっている、れんが建造物のもつ魅力とその歴史を多くの方々に理解していただくことを目的として赤れんが博物館を開館いたしました。

2016(平成28)年、「旧鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産に認定されました。当館は主要構成文化財の一つになっています。

- 鉄骨れんが造・2階建。延床面積830.36㎡
- 国指定重要文化財 2008(平成20)年6月指定

開館時間 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日 年末年始(12月29日～1月1日)

区分	個人	団体(20名以上)
一般	400円	300円
学生(小学～大学)	150円	100円

※舞鶴市内在住・在学の学生は無料

引揚記念館 一般 600円 学生 200円

との共通券 (共通券は、赤れんが博物館・引揚記念館にご入館いただけます。)

※引揚記念館は、毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)も休館します。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示下さい。入館料が半額になります。

※障害者(身体障害者手帳に「介護」と記載のある方)の介護者1名は、入館料免除になります。



ACCESS

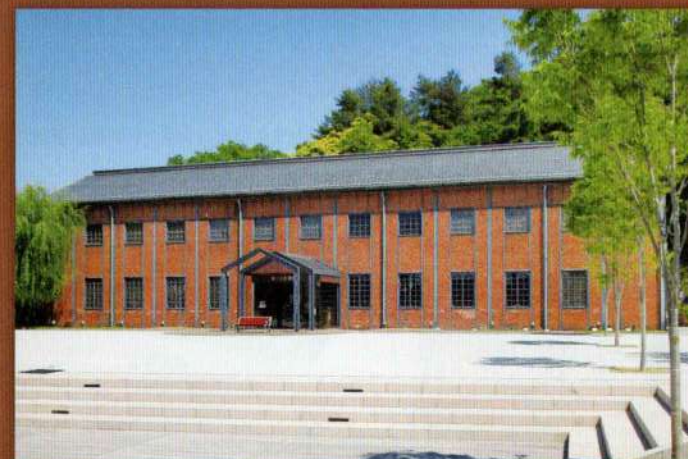
- 車 <京 都>から 京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道で約100km
<大 阪>から 中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
<名古屋>から 北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道で約190km
○舞鶴東ICから 約6km(約10分)
○舞鶴引揚記念館から 約6km(約10分)
- 電車 <京 都>から 山陰線、舞鶴線[JR] (約1時間40分(特急))
<大 阪>から 京都経由で約2時間20分
<敦 賀>から 小浜線[JR] (約2時間)
- 高速 <京 都>から 約2時間
バス <大阪(梅田・なんば)>から 約2時間10分

舞鶴市立 赤れんが博物館

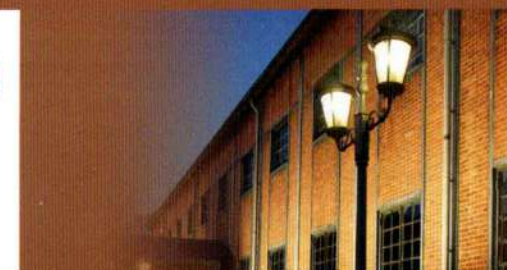
〒625-0036 舞鶴市字浜2011番地
TEL 0773-66-1095 FAX 0773-64-5123
E-mail: renga@city.maizuru.lg.jp



舞鶴市立 赤れんが博物館



World Brick Museum



1st Floor 1階 展示室

1 世界のれんが

れんがの歴史は、今から約1万年前から始まったといわれています。古くは、エジプト・メソポタミア・インダス・中国などの古代文明発祥地において使われてきました。



インダス モエンジョダロ遺跡模型



メソポタミア
ラガシュの楔形文字入りれんが
(紀元前2200年頃)



エジプト
魚の丘遺跡の日干しれんが
(紀元前1400年頃)

れんがは、世界各国で建築材料として広く使用されてきました。中国、ローマ帝国などの著名なれんが建造物を紹介しています。



ローマンブリック
(紀元後200年頃)

万里の長城のれんが
(14世紀末)

2 ホフマン窯コーナー

かつてれんが製造の主流を占めたホフマン窯内部を再現し、れんがの作り方などを紹介しています。

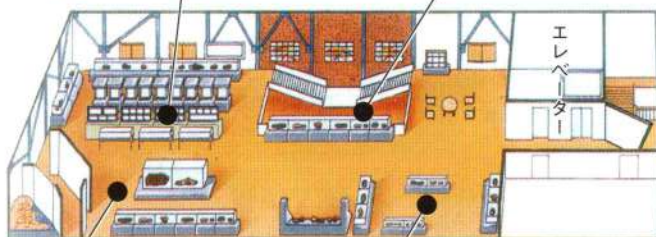


2階 展示室

2F

3 日本のれんがの歩み

5 耐火れんがコーナー

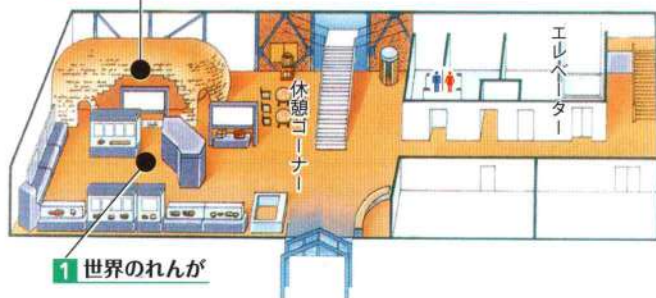


4 舞鶴市とれんが

6 歴史を証言するれんが

1F

2 ホフマン窯コーナー



1 世界のれんが



1階 展示室

2nd Floor 2階 展示室

3 日本のれんがの歩み

れんがは、中国大陸・朝鮮半島から日本へ仏教建築の材料として伝わってきました。また明治維新以降の「文明開化」により数多くのれんが建造物が造られてきました。



鳳凰磚 (8世紀)



東京駅模型

4 舞鶴市とれんが

舞鶴市内には、今なお数多くの赤れんがの建造物が残っています。倉庫や工場など海軍関係の諸施設を中心に、要塞や鉄道施設、全国に4基しか残っていないホフマン窯などがあります。その数や用途が多い点で、舞鶴は日本有数の赤れんがのまちといえます。



魚形水雷庫模型

5 耐火れんがコーナー

江戸幕府末期に造られた反射炉の耐火れんがから現代の耐火物まで展示しています。

6 歴史を証言するれんが

原爆ドームやアウシュビッツ強制収容所で使用されたれんがなどを展示しています。



原爆ドームのれんが